

銀の認定証を 2020 年 2 月 5 日に取得され、現在も取り組みを継続している事業所様に、お話を伺いました。

【会社概要】 所在地:神奈川県川崎市 従業員数:47 名

事業内容:電磁波、荷電粒子、X線などの技術を中心としたソフトウェア、ハードウェアの開発、製造、輸出入、販売、サポート

Q1:健康企業宣言に取り組むきっかけを教えてください。

A:設立当初より健康意識の高い社風で、すでに健康企業であると考えていたため、最初は参加を見送っていました。しかし、健康経営という考えが世の中に浸透し始め、多くの企業が組織的に取り組んでいることを知り、企業としてさらに発展していくためには、今の時代にどのような取り組みが求められているのか、また、健康企業としての自社の状況を、客観的な評価により知ることが必要と考えるようになりました。そこで「当社の健全な成長と発展は社員一人ひとりの健康が礎になっている」という社長理念のもと、健康企業宣言を行いました。

Q2:実際に取り組んでみた感想を教えてください。

A:これまで行ってきたことが、健康経営として評価される取り組みであったことに改めて気づくとともに、新たに必要な課題も見えてきました。健康企業宣言への参加および継続は、大変意義のあることと考えています。

Q3:取り組みで苦労したこと・工夫したことを教えて下さい。

A:銀の認定を取得した年は、取り組み記録の作成など申請書類の準備に苦労しましたが、その作業により、取り組みの全体像を把握することができました。日頃は社内のニーズに合った取り組みや情報発信を心がけていますが、困った時などは健保さんに相談し、アドバイスをいただいている。

最近行った取り組みの工夫では、健保さんの協力のもと、糖分に対する意識を変えるため、お砂糖のボトルにひと振り分(3g)を消費するのに必要な運動時間を表示しました。※

Q4:取り組みに対する社内の反応を教えてください。

A:当初は社内の関心は低い中のスタートでしたが、銀の認定を取得した頃より、社内の関心が少しずつ高まり、健康への取り組みに対する感想や、提案、要望、質問といった声が届くようになりました。取り組みを始めて 4 年目となります、継続の大切さを実感しています。

Q5:健保との協力(コラボヘルス)について感想をお願いします。

A:社内には専門職がないため大変心強い存在です。

現在は、取り組む内容の幅も拡がっているため、健保さんのご協力は欠かせないものとなっています。取り組みの推進は、会社と健保の二人三脚だからこそ実現できるものと感じています。



昼休みはテニスや卓球で盛り上がります ランニングやウォーキングをする社員もいます



ミ先、てあります、
会社で始めた
キンカンです

敷地内で収穫できる季節の果物や野菜の話題が
社内のコミュニケーションにもつながっています



事業主 田辺様(左から 3 番目)と担当者の皆様